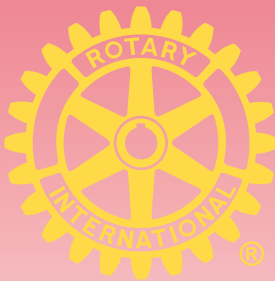


Rotary



週報

No.01234 2019.5.20 第37例会

2018～2019年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

◆本日のプログラム

◆次回のプログラム

5月20日
外部卓話
「樹木医の仕事について」
株式会社 山都屋
樹木医 魚井 聖一 様

5月27日
内部卓話
相原 利行 会員



BE THE INSPIRATION

◆理事・役員(2018.7～2019.6)

会 長 竹 本 千代子
副 会 長 山 下 浩 一
幹 事 仲 田 錠 二
副 幹 事 鈴 木 一 生
理事・S.A.A. 小松原 隆 代
副 S.A.A. 日 笠 伸 之

会 計 樋 口 芳 紀
理事・職業奉仕 平 松 信
理事・社会奉仕 橋 高 正 剛
理事・国際奉仕 相 原 利 行
理事・青少年奉仕 末 吉 賢 多
理事・会員増強 入 江 直 人

理事・プログラム 岡 本 和 夫
理事・親睦活動 西 岡 貞 則
理事・ロータリー財団 横 山 俊 彦
直 前 会 長 大 山 饗 よし江
次 期 会 長 山 下 浩 一

地区のスローガン

「チャレンジしよう」

クラブのスローガン

「直き・諒・多聞を友とし、クラブに友愛を」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町 1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ

事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階

TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288

E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ

E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

内部卓話

「四国お遍路に参加して」

岡村 秀男 会員



今年は四国お遍路を私は5回目を回り始めおり、始めてから約7年かかっています。最初案内してくれた先達さんが、一回目は先祖のため、二回目は家族のため、三回目は自分のため。その時はその様なことかと思った。その後は私にとってはお遍路は心の癒しの旅と、半分は四国病にかかっています。私にとって癒しとは、自然の中で仏の教えを読む事で、気持ちが落ち着き、これがおおらかな人生だ、それが四国病と言うのでしょうか。重病人になるかもしれません。またお遍路と言う言葉を使用しているのは日本の四国のみで、日本や世界にもいくつもの聖地をめぐる旅はありますが、「巡礼」「巡拝」と言っており、西国・坂東・秩父・九州 等。また、世界を見てもお遍路の言葉は使っていない。徳島大学や愛媛大学の先生に会う機会があり、また、先達さんに聞いてもはっきり納得いく答えが返って来ない。また、四国八十八か所のお寺をどのように決めたか。江戸時代に決めたらしく、詰めて話を聞くと分からない事が多い。他に、四国別格20霊場のお寺がありますが、その寺のほうが多い寺が多いと聞いています。徳島の現在の第一札所 霊山寺に空海が815年 国家安泰、五穀豊穡のため天皇の命を受けて来られて以来1200年、2015年に、四国霊場開創1200祭が行われた。お遍路に参加していると、いろいろルールがありますが、基本的に弘法大師と共に歩く【同行二人】の考えです。では、何故私がお遍路を始めたかと言うと、約30年前に会社代表者になってから、職員に対し自分では思っていなかったのですが、パワハラの発言で心を傷つけたとの思いが心の片隅に強く残っており、今までもあります。なぜなら、企業が赤字になれば個人の全てを無くする。従って言いたくない事でも言わなければ、平成年度になる前、昭和63年バブル崩壊前、株価日経ダウ ¥39,000 まで上がり、景気は良い時期でもあり、土地も買えば値上がり、間違い無い時期で、突然に岡山支店の責任者に、分社独立代表取締役役の要請があり、当時、岡山支店で年間18億の商いが有り、その時まで責任者は立場上、売上利益が大きく落ちないようにがんばれば良く、集金したお金は本社に送金。従って銀行との接触はほとんど無い状態でしたが、会社代表になると人間関係の付き合いが全く変わってきて、特に銀行は、今でも忘れられない事です、スーパー銀行住友銀行がメイン銀行で、柳川の交差点にありました。取引で相談にいくと、独立にあたり資金は必要なだけ用意はもちろん出します。心配しなくて良いです。非常に穏やかに気持ちよく返事を頂き、大変簡単に思い、何も心配することがなかった。しかしいざ必要になり、再度交渉に行きますと、全く状況が違うのに気が付きました。まず事業計画書。それは分かりますが、次に個人財産の有無と担保、生命保険加入に、親会社代表者の個人保証。その時の銀行の厳しさに、つくづく思い知らされ恐ろしく思った。本心は付き合いしたくない。情報はいろいろ提供してくれますが、現実の付き合いが始まると、「真綿でくびを絞める感じで攻めて来るな、従って銀行に出来るだけ頼らない経営を考えなければ」と思い、そのあと地方銀行に行き、大変助けもらいました。有難く感謝しています。預金はスーパー、借りは地銀へとの考えで、資金繰りを考えると“銀行に出来るだけ頼らない経営”得意先より早くお金を頂き、メーカー・仕入先には一日でも遅く支払させていただこうと考え、また企業は、得意先には信用が最も大切で、リピーター客をより多く“誠実に対応 信用を儲ける”これが会社の社是です。また松下幸之助の書籍を読み、「社員は現場で働くリーダーとして、一定の利益が無いことは“罪悪”だ」この考えが最も大切と徹底させ、あるいは社内会議でも必要としたのは、一般管理費の中身開示分析をしたこと。社員全てに公開し理解してもらう。代表者の給与、交際費も開示し、ベースを考え理解がないと何事も社員全ての信用が得られないと。今考えると都市銀行との交渉が自分の性格を変えたと思う。その後無我夢中で働き、その時パワハラの発言が多々あったと思います。労働基準監督署に言えないと思う。企業が軌道に乗って来た時、職員に申し分けないと感じる日々があり、当時はよく働いたと思い、早く現役を引きたいとの思いが強かった。それからは引いた後どのようにすれば健康で人生を楽しむことが出来るかを、自分のテーマと考えていた。実の姉が写経を続けていて、当時約2000枚近く書いており、自分も書けるのではと思い、書き始め、その時は内容がよく理解出来ないながら書き、書籍を買いもとめ実際に書いて何となく落ち着いて書くことが出来る。今現在、7年間で2286枚書いて、日付・枚数を記入しており、手を抜くことが出来なく、自分を縛って毎日書く様に心がけております。全てお遍路でお寺におさめております。お寺参りにはいろいろルールがありますが、他のお参りするお遍路さんに迷惑にならないように心がけることが大切で、最近は外国人が大変増えてきている。一昨年のデータでは250名、1400km歩き、遍路で50～60日かけて四国を巡る。理由を聞けば【特に自分を見つめ直すため】と話される方が多いと聞きます。空海「四国遍路」の書籍も沢山出ていますので、関心に向けて下さい。

「地域の生活者に寄り添う小売りが最後の勝利者となる」

野田 洋市 会員



- 1.1989年にベルリンの壁が崩れる。日本の城、万里の長城、中近東の城塞都市とは異なり、防御でなく「人が出ていく事を阻む」為の最初で最後のバリアとなった。歴史上、稀有な事例である。
- 2.流通に於いても似た構図があった。規制と規制緩和である。それまでは百貨店の出店は許可制であったが、戦後に新たに誕生したスーパーの出店を規制する仕組みはなく、中小の小売店保護の為にスーパーの出店も許可制にするよう通産省(今の経済産業省)に強く求められた。
- 3.その結果、1974年には中小小売店の保護を踏まえて(第1種は3000㎡、第2種は500㎡)を超える出店を規制し地域の商業者と有識者で組織する商業活道調整協議会の事前審査を経ることとなり攻守の立場の違いから攻めぎ合いの様相になった。(参入する側と守り阻む側)
- 4.折しも米国による規制緩和への外圧があり(トイザラスが発端)また80年代にはモータリゼーション(車社会)が進み商圈は拡大し郊外化も進んだ結果、中小小売店や商店街は地盤沈下し特色を失っていった。
- 5.その後も大店法の運用の適正化を巡り改正が続くが流通の近代化の中で中小小売は存在意義は薄れていく。
- 6.2012年に大店法は正式に廃止となるが2004年にはすでに大型店の出店は事実上、自由化となる。全国的に客を奪われた中小の小売は苦戦し商店街はシャッター通り化が進み中心市街地の空洞化が問題となる。
- 7.大店法の歴史は残念乍ら消費者が不在であり結果的には出店の自由化でオーバーストアのために過当競争を招く結果となっている。
- 8.郊外の大型店が地域の雇用を担う一方、地域の中小の小売店や商店街も地域密着の木目の細かいサービスで復活の道を模索し始めている。その間も海外からの黒船組のカルフール、テスコ、等々は必ずしも日本人の木目の細かい消費ニーズは掴めず、人口増加が望めない中での撤退が続いている。(ウォルマートが買収した西友がどうなるのか)
- 9.小規模小売店、商店街を保護する目的で生まれ結果としてその競争力を奪ったのは事実ではありますがこのことを踏まえて1998年以降は大型ショッピングセンターや大型店と地域社会の融合を目指して「まちづくり3法」が施行された。都市計画法、中心市街地活性化法、新大型立地法です。
- 10.まちづくり三法は運営の主体が都道府県や政令都市であり大型店出店に対し周辺の道路整備、駐車場駐輪上の整備、騒音、渋滞等々の環境整備が中心となっている。大店法が経済規制であったことに対し社会規制への転換がすすんできたと言える。
- 11.今、食品流通は人口が増えない少子高齢化の中でのメーカーサイドのオーバプロダクト(生産過剰)とオーバーストア(店舗の過剰)と業態間の過当競争激化(DS,ドラッグストア,CVS等々)10月に直面する消費増税と複雑な軽減税率とその為のシステム対応に揺らいでいる。
- 12.災害や人手不足、環境問題を受けて持続可能な仕組み作りを通じてそれでもなお地域に密着し消費者、生活者に寄り添い、課題解決が出来る小売が生き残る。買い物弱者に社会インフラとして貢献できる。

人口問題の課題

日本の人口は少子化で既にピークアウトだが世界の人口は増加している。特に途上国の増加が著しい。既に74億人、そして、2050年には90億人との予測がなされている。日本の食料自給率はカロリーベースでわずかに38%に過ぎず、今や日本は世界最大の食料輸入国である。

食料に対する世界の需要は増え続き漁業(魚)や畜産用飼料の争奪戦が起こっている。(飼料の買い負けが発生)因みに家畜の肉を1kg増やす為の飼料の量は標準的に鶏は2kg、豚は4kg、牛は8kgである。

ミールソリューション

食品売り場に於ける大きな変化

女性の社会進出や高齢化の進行で中食が伸びている。(惣菜の伸びが顕著)

技術の進化で低温(冷食、チルド)が伸びてきた。

家庭内での調理時間の短縮で加工食品がやや伸び悩んでいる。

(1世代変わる毎にクッキング時間は半分になっていく。)

良いスーパーの条件

豊富な品揃え、鮮度管理、明るい店内(雰囲気)、季節感、高品質サービス、低価格(同価格)小さなイベントが多い。トイレがきれい。サービスがある。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 野菜が良いと毎日、お客が来る。 | ③ 肉が良いと金持ちのお客が来る。 |
| ② 魚が良いと広範囲でお客が来る。 | ④ 価格がリーズナブルなら更に良い。 |

前回5月13日の例会記録

出席の状況

会員数 51名(内出席免除者 0名) 出席者数 39名(内出席免除者出席 0名) 欠席者数 12名
出席率 76.47% 前々回訂正 88.24%
欠席者 藤木、福元、加戸、鴨井、児島、小菅、森本、森永、大賀、丹治、槌田、山田

会長報告

会長 竹本 千代子

大型連休も終わり、本日は令和時代最初の例会となります。令和の出典である万葉集の人氣も高まっているようですが、ロータリアンの中にも万葉集に造詣の深い人は大勢おられることでしょう。例えば、九州にある大分城西ロータリークラブのホームページには、万葉50首の紹介があります。



これは、大分大学教育学部教授で特に万葉集研究で知られた故佐々木均太郎（ささき きんたろう）氏が、会長報告で話されたものを紹介したとのこと。平成9年5月21日の例会では、「令和」ゆかりの人物である大伴旅人が瀬戸内海の瀬の浦で詠んだ歌を紹介しています。

吾妹子（わぎもこ）が見し瀬の浦の天木番樹（むろのき）は

常世（とこよ）に有れど見し人ぞなき

「わが妻が私と一緒に見た瀬の浦のムロの木は今も変わらずにあるが見た妻はもはやいない」という意味だそうです。

「旅人が九州都の長官として太宰府に赴任していったのは神亀（じんき）4年（727年）の12月、妻も同伴してこの瀬の浦で長寿の木といわれるムロの木を眺めて、お互いに長生きしましょうと言いかわしました。それが、翌年の初夏のころ妻は太宰府の長官館で亡くなりました。3年後の今、再びこの瀬の浦のムロの木を見た旅人の哀感がしみじみと伝わってくるような歌ではありませんか。ムロの木は、ひの木科の常緑高木、高さ10メートルにもなり、長寿をつかさどる神の木といわれています。」という解説を記しておられます。どの解説もわかりやすく、造詣の深さがしのべれます。北西ロータリークラブ歴史同好会の皆様も10月に太宰府を訪れる計画をされています。どうぞ万葉を楽しんでください。

幹事報告

幹事 仲田 錠二

- ① 5月のロータリーレートは1ドル=112円です。
- ② ガバナー月信Vol.11、ロータリーの友5月号を配付しております。
- ③ 4月22日例会後の「子どもシェルターモモとの合同清掃活動」には多数の皆様にご参加いただきありがとうございました。
- ④ 本日例会終了後13:40より、3F「ルビーの間」において「第11回理事役員会」を開催いたしますので、理事役員の皆様はご出席ください。
- ⑤ 他クラブ週報を回覧いたします。



例会情報

本日のメニュー（5月20日）

帆立貝柱と野菜のショロンソースのグラチネ
牛肉のステーキ エシャロットソース
パン コーヒー デザート

次回のメニュー（5月27日（ヘルシーメニュー））

井 しらす丼（舍利）煎り胡麻
（別盛り）刻み大葉 もみ海苔 山葵 割り醤油
小 皿 葱入り出し巻
小 鉢 筑前煮（岡山県産森林鶏 牛蒡 蓮根 人参 蒟蒻 青身）
赤出汁 三種 香物 三種



前回メニュー(5月13日)：搔揚げ蕎麦